

13.06.23 カブ四季総会セミナーin日経ホール

当面の相場見通し インフレロング対デフレショート

kabu.com投資情報室
マーケットアナリスト 山田 勉



局	レギュラー出演番組	時刻
日テレNEWS24	まーけっとNavi/Financial INDEX	月曜9時
	ニュース30+/大引け解説	木曜15時
	デイリープラネット/エコノFocus株価解説	木曜20:10頃
日経CNBC	昼カブ	火曜13:55-14:00
TBSニュースバード	達人の株価予報	毎日8:59頃
ラジオ日経	こちカブ	水金曜8:00-8:20
ストックボイスTV	マーケットホットライン	火曜9:45頃

当該セミナーおよび当資料は、資産運用の参考となる情報提供や、当社サービスの紹介を目的としています。銘柄選択、投資時期、投資スタイル等、投資の最終決定はご自身のご判断とご責任で行ってください。

ご注意事項

- 証券投資は、価格の変動、金利の変動、為替の変動等により投資元本を割り込む恐れがあります。お取引の際は、約款・規定集、契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目論見書)、お取扱商品の重要事項の説明等を良くお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を良くご理解の上、銘柄選択、投資時期、投資スタイル等、投資の最終決定はご自身のご判断とご責任で行ってください。
- 投資信託の購入は、基準価額の変動により元本を割り込み損失を被ることがあります。ファンドにより販売手数料とは別に、信託報酬・解約手数料・その他手数料等を要するものがありますが、各ファンド別に要件・料率等が異なりますので表示できません。お取引に際しては、目論見書(商品毎)および目論見書補完書面(投資信託)をよくお読みください。
- 前金商品(投資信託等)をご購入の場合には、お申込から約定までの間に現金買付余力がないと注文が取り消しとなる場合がございます。株式発注金額は、約定・未約定にかかわらず優先して拘束されますので、前金商品(投資信託等)の申込条件を満たさない場合もあります。投資信託等をお申込の場合には、オンライントレード規定・目論見書補完書面に記載するご注意事項やお申込画面のご注意事項を十分にご確認ください。
- 信用取引・指数先物取引・指数オプション取引・有価証券オプション取引・海外指数先物取引は、保証金または証拠金 以上のお取引が可能であるため、保証金または証拠金を超える大きな損失を被ることがあります。取引期限があり取引期限を越えてのお取引はできません。お取引に際しては、信用取引・指数先物取引・指数オプション取引・有価証券オプション取引・海外指数先物取引の契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やお取引ルール等を良くご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。
- 信用取引における委託保証金率等は信用取引ルールのご案内ページ(<http://kabu.com/service/rule14.asp>)をご確認ください。
- 指数先物取引・指数オプション取引・海外指数先物取引においては、各取引所ごとSPANによる先物オプション取引全体の建玉から生じるリスクに応じて証拠金の額を計算するため、証拠金に対する取引額の倍率(レバレッジ)は一定ではなく明記することができません。
- 日経平均VIXは相場急変時に急上昇する特性があり、日経平均VIX先物取引の売方は、その損失が株価指数先物取引と比較して非常に大きくなる恐れがあります。
- 外国債券の価格や利回りは、市中金利や発行体の信用力などの状況により変動し、還前に売却する際は、損失(元本欠損)が生じるおそれがあります。また、発行体の財政状態の悪化、経営破綻などにより、損失を被ることがあります。外貨建債券は、為替相場の変動等や、国や地域、政治・経済・社会情勢の変動などにより大きな影響を受けたりするおそれがあります。外国債券を購入する場合は、委託手数料はかかりませんが、売買における売付け適用為替レートと買付け適用為替レートには差額があります。上記、適用為替レートは債券の起債通貨によって異なり、実勢レートに基づき当社が決定します。

●シストレFX・くりっく365・大証FX・店頭FXは元本や利益を保証するものではなく、為替変動リスクや金利変動等のリスクを伴います。取引金額がお客さまが預託しなければならない証拠金の額に比べて大きい額となっており、外国為替相場や各国通貨の金利の変動等によりお客さまに損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額は、お客さまが預託されている証拠金の額を上回る可能性があります。本取引において提示する売値と買値の間には差額があります。お取引に際しては、契約締結前交付書面をよくお読みください。

手数料:くりっく365 98円(片道約定1枚/税込)・大証FX 96.6円(片道約定1枚/税込)・シストレFX、店頭FX 無料
証拠金(1万通貨あたり):シストレFX 建玉金額の4%

くりっく365 東京金融取引所が発表する証拠金基準額をもとに当社が定める額

大証FX 大阪証券取引所が発表する証拠金基準額をもとに当社が定める額

店頭FX コース、通貨ペアにより25,000円～1,000,000円

●取引所CFD(株365)の取引対象である株価指数は、価格、配当予想額、為替、金利等の変動によって変動します。これにより、取引所CFD(株365)のお取引においては投資元本を割り込む恐れがあります。また、お客さまが行う取引の金額がその取引についてお客さまが預託しなければならない証拠金の額に比べて大きい額であることから、その損失の額は、お客さまが預託されている証拠金の額を上回る可能性があります。

手数料:149円(片道約定1枚あたり/税込)

証拠金:東京金融取引所が発表する証拠金基準額をもとに当社が定めます。

証拠金の額は変動するため、取引金額証拠金に対する比率は一定ではなく明記することができません。

●詳細および最新情報は当社ホームページ(<http://kabu.com/>)にてご確認ください。

■当イベントは、情報提供を目的としており、特定の商品の推奨や売買に関する断定的判断の提供を目的とするものではありません。先物・オプション取引や外国為替証拠金取引(FX)を含む金融商品の勧誘を目的とした商品説明やご案内等をさせていただくことがあります。

◆お客様サポートセンター

0120-390-390 携帯電話・PHSからは 03-6688-8888

[オペレーター受付時間:平日・午前8時～午後5時 自動音声応答受付時間:24時間資料請求受付中]

◇ご意・苦情について(当社以外の窓口)

特定非営利活動法人 証券・融商品あっせん相談センター

電話:0120-64-5005

カブドットコム証券株式会社

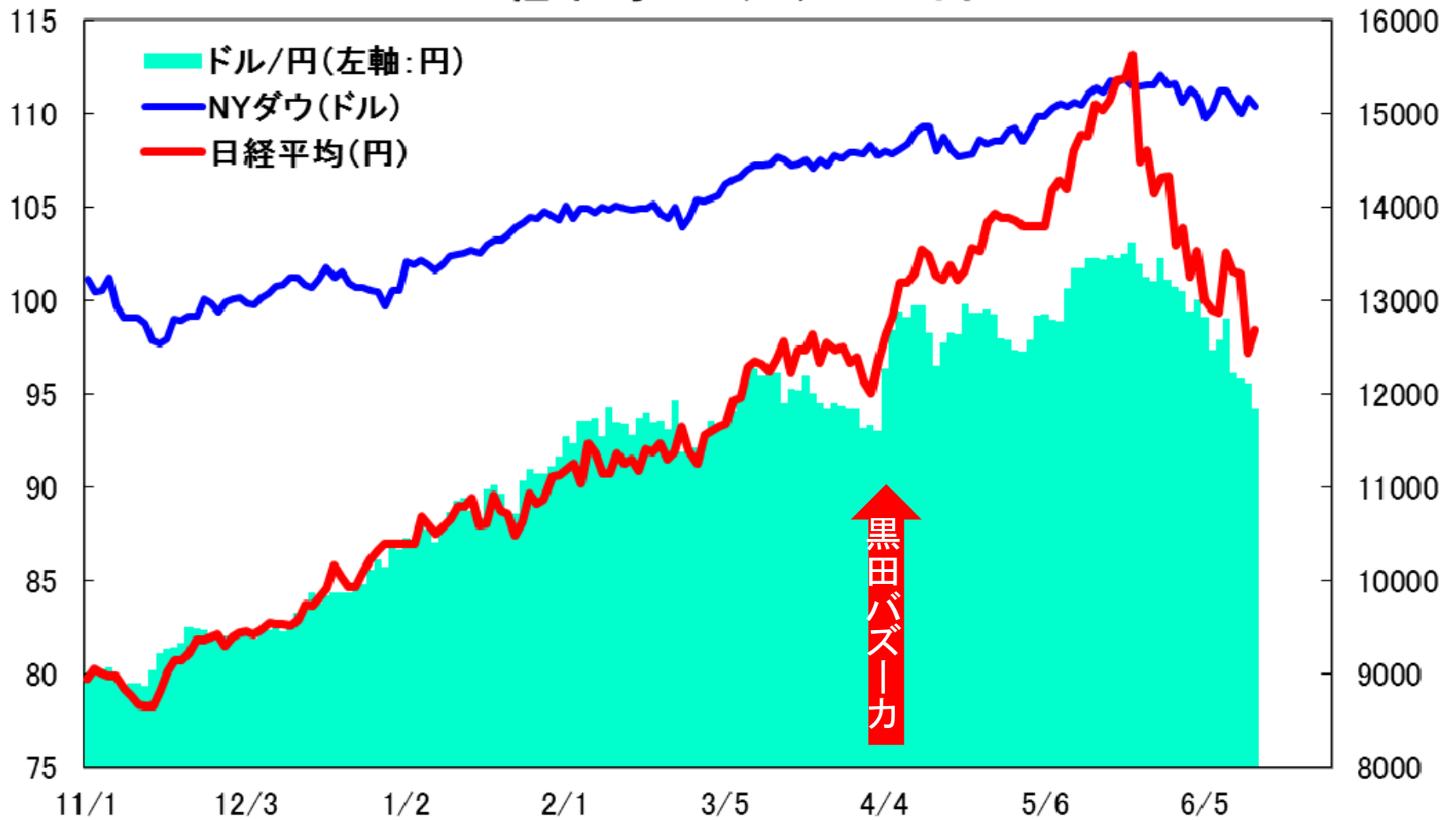
金融商品取引業者登録:関東財務局長(金商)第61号

銀行代理業許可:関東財務局長(銀代)第8号

加入協会:日本証券業協会・金融先物取引業協会

※詳細および最新情報は当社ホームページにてご確認ください。
※掲載情報は2013年6月17日現在のものです。

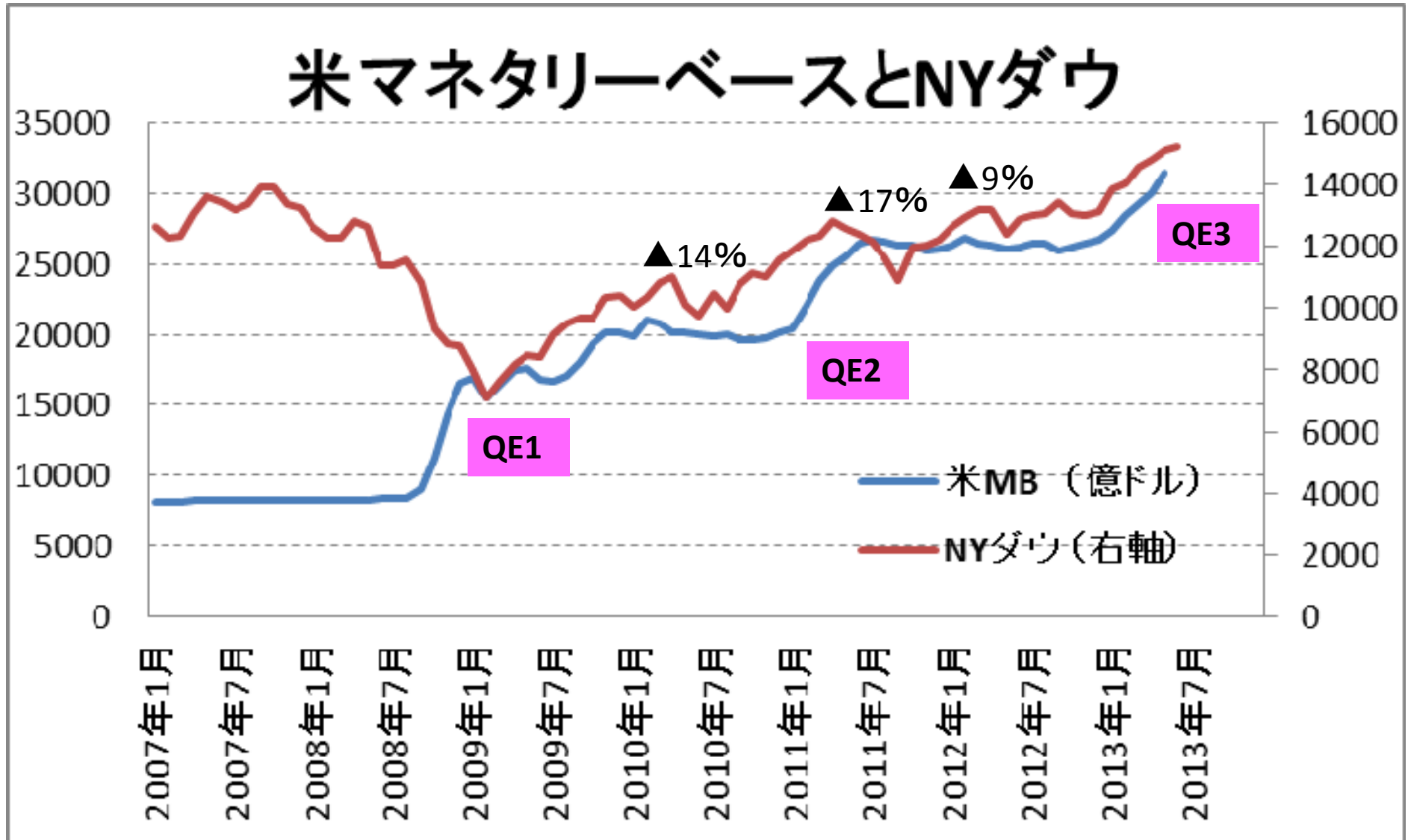
日経平均・NYダウ・ドル円



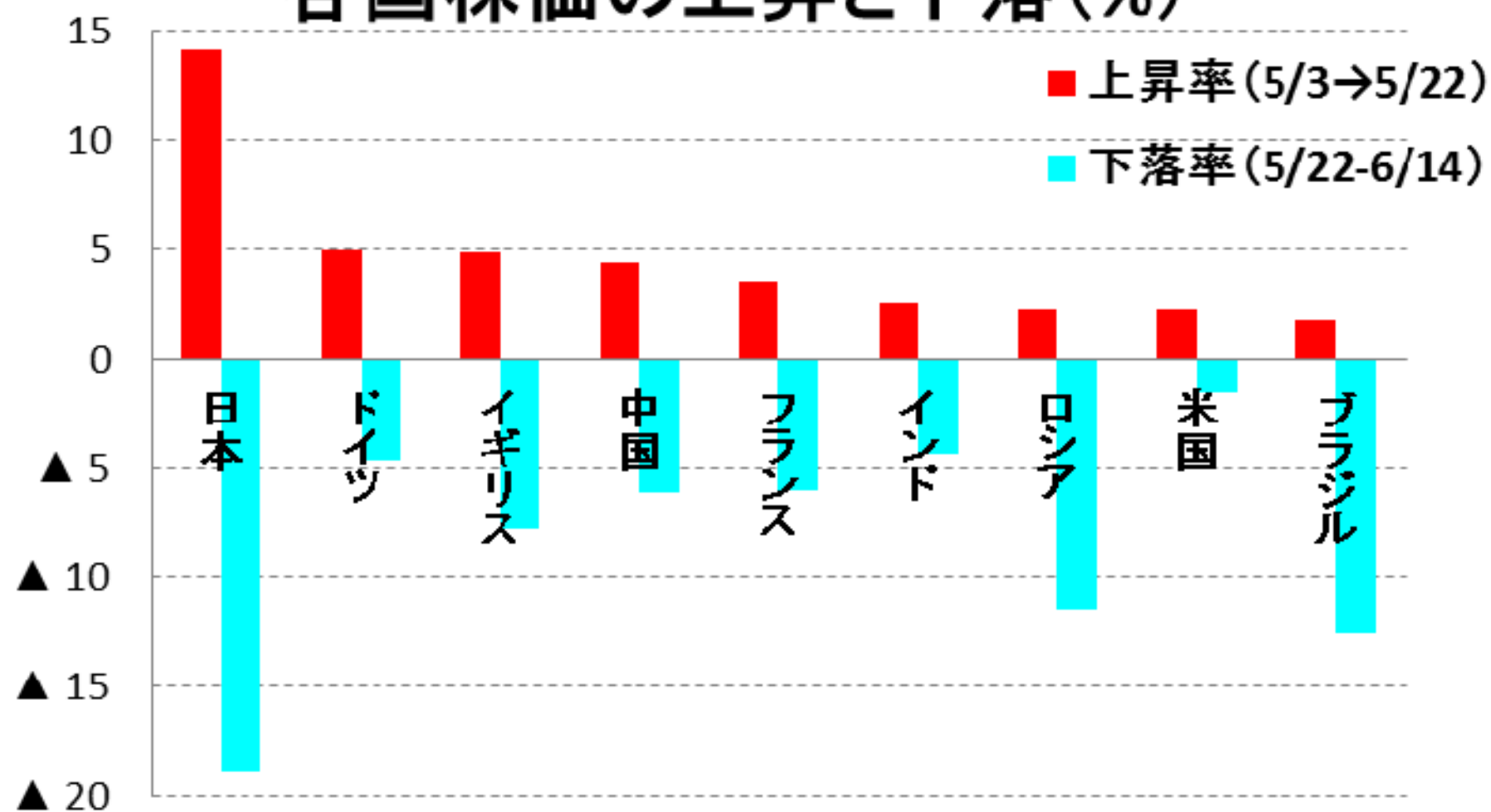
量的緩和縮小観測を巡る右往左往

事実		相場の反応
5/3 米4月雇用統計	6カ月平均20万人超 ⇒早期縮小観測	ドル高円安で株高
5/22 議会証言 & FOMC議事録	早期縮小言及	ドル安円高で株安
6/7 米5月雇用統計	同20万人割れ ⇒早期縮小遠のく	ドル高円安で株高
6/11 日銀会合	現状維持	ドル安円高で株安
6/19 米FOMC	早期縮小はないが、 今後も時期を模索？	ドル高円安で株高？

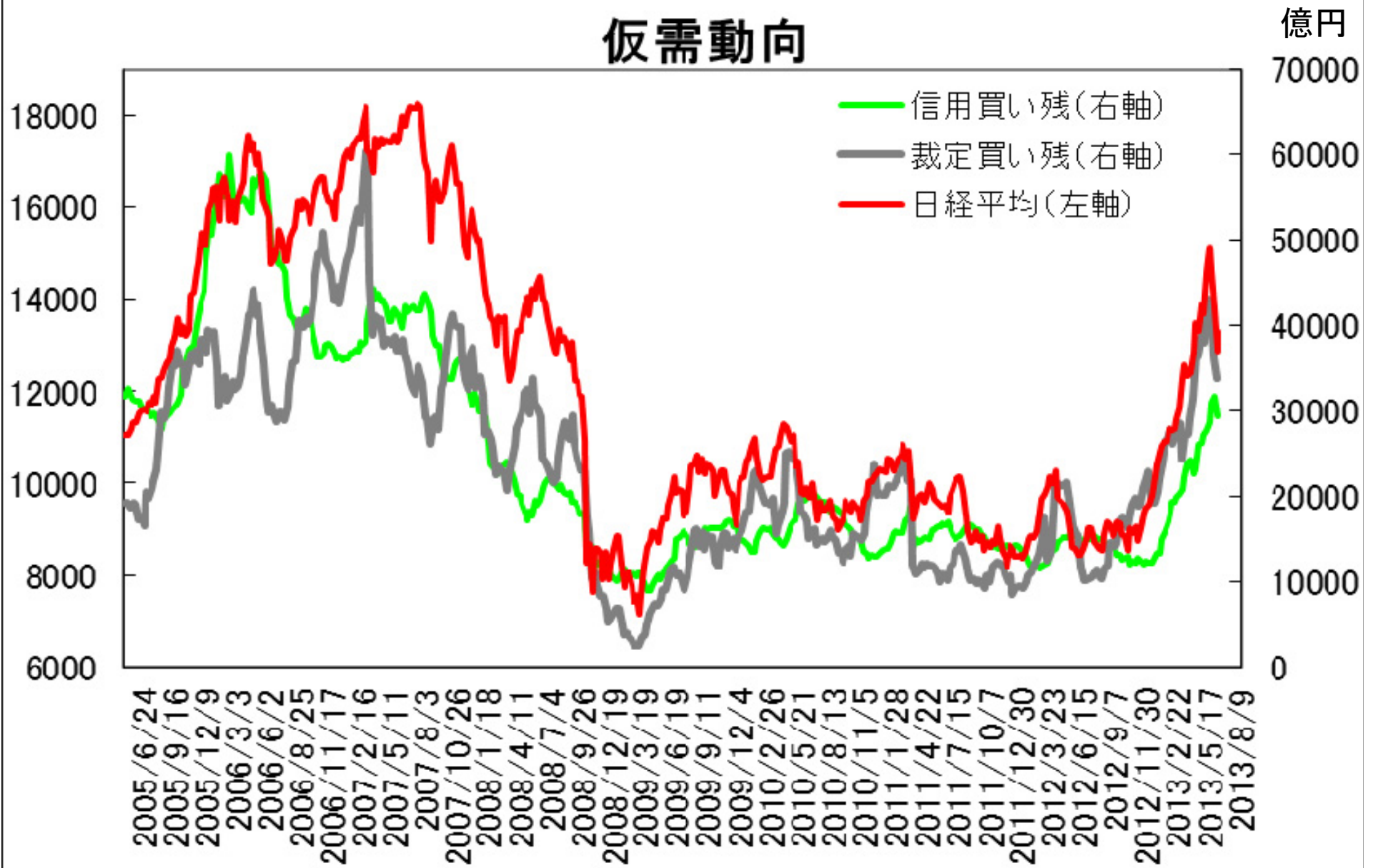
米の先例に学ぶ



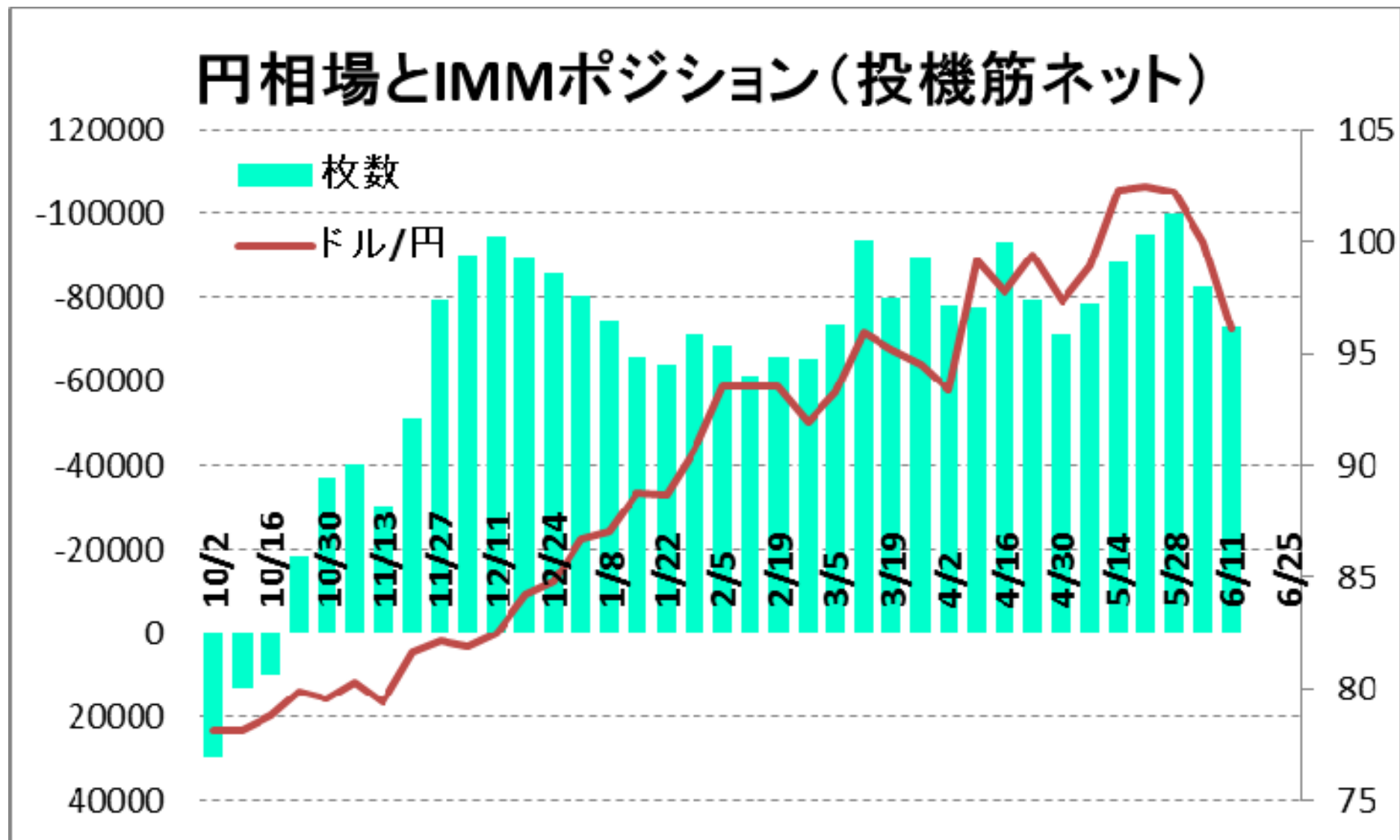
各国株価の上昇と下落(%)



仮需動向



円ショート逆流



インフレ期待の後退

- 長期金利上昇を騒ぎ過ぎ
→ 財政出動などの手足を縛り、財政再建・消費増税を急げば景気腰折れで元の本阿弥
- アンチ・グレートローテーション
→ 外債売り越し4週3.5兆円（円高圧力）
- 所得150万円増論争、無理ってか？
- 景気経済は順調回復中
- 欧州や新興国はドンヨリ、地政学リスクも

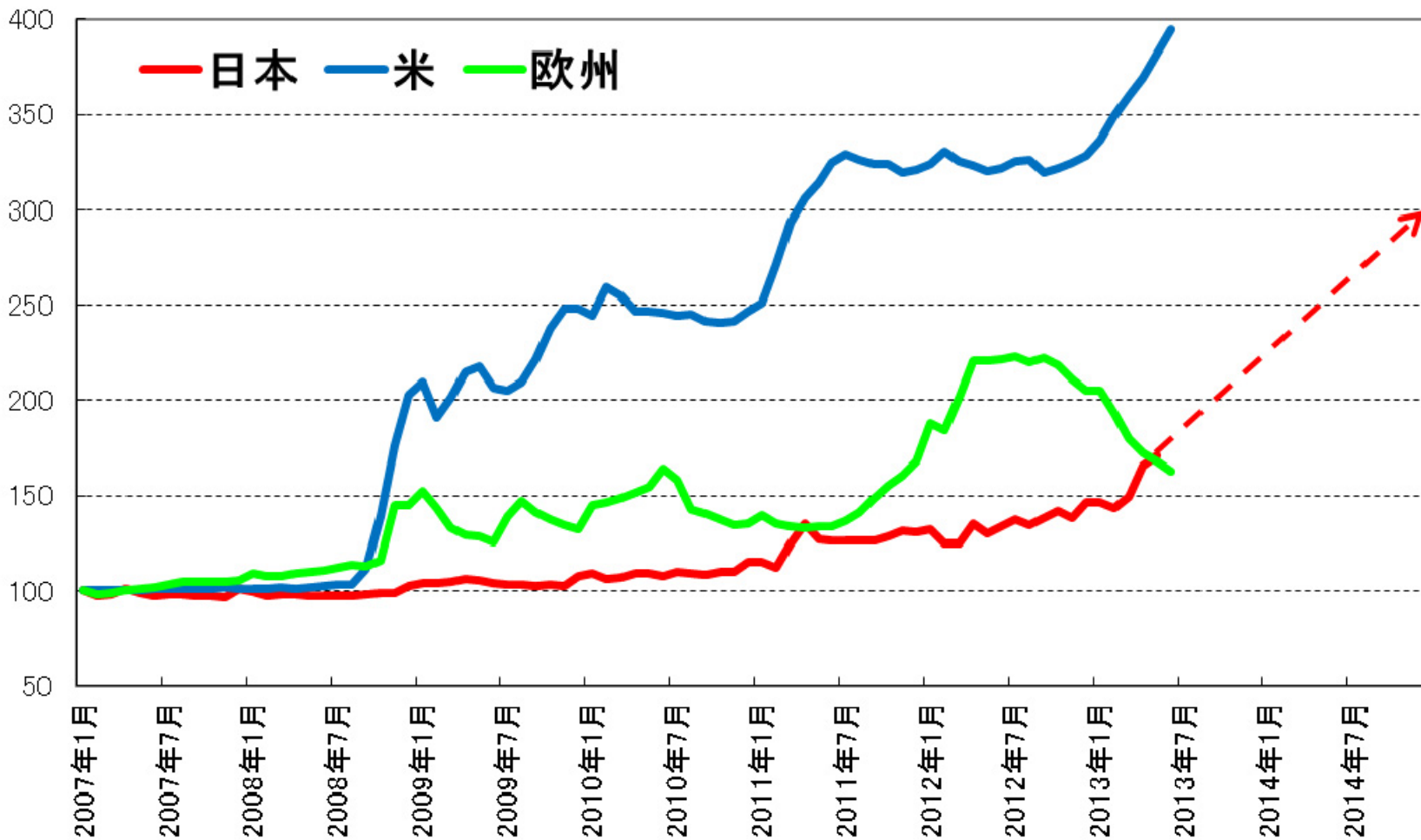
まだまだリフレ政策への理解が足りない
政府日銀は繰り返し語れ

若い相場に2割調整 ＜青春の蹉跌＞ か？

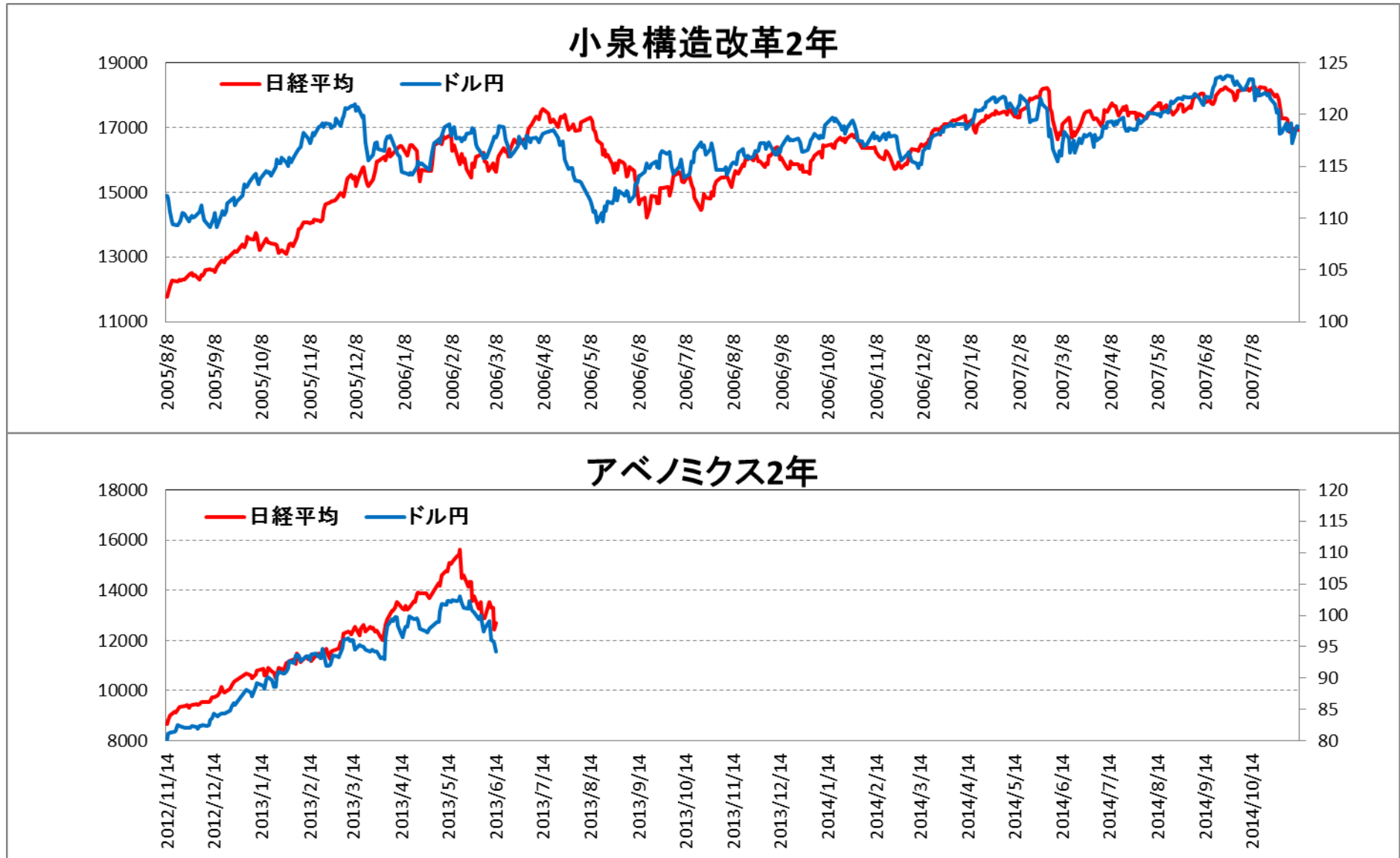


日米欧中銀

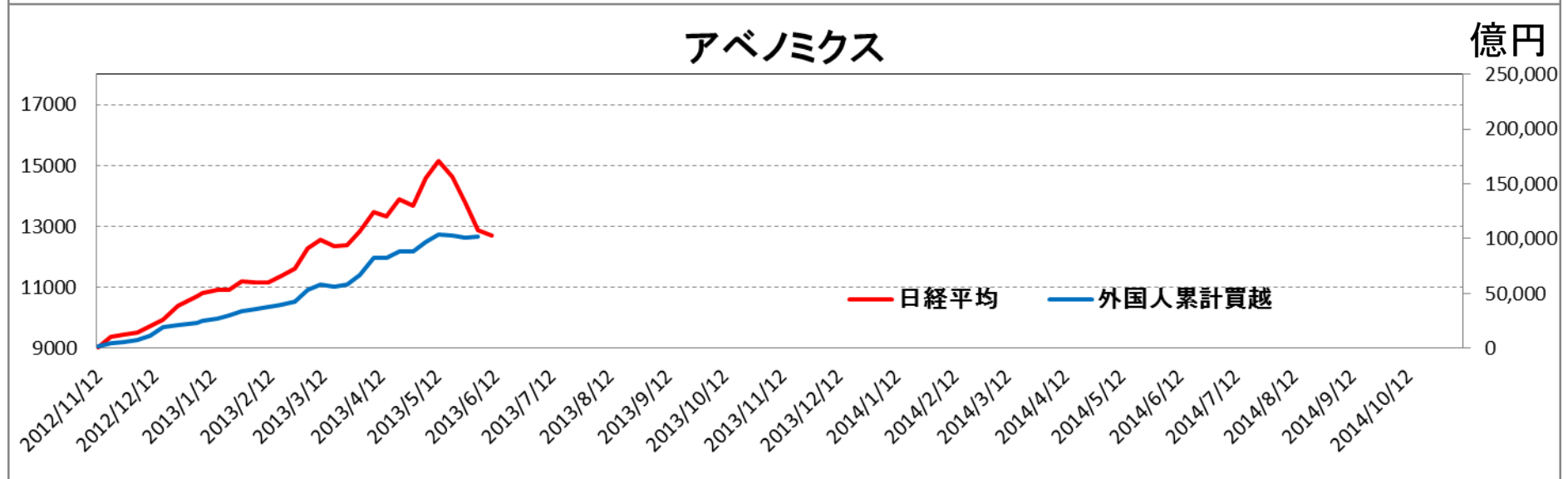
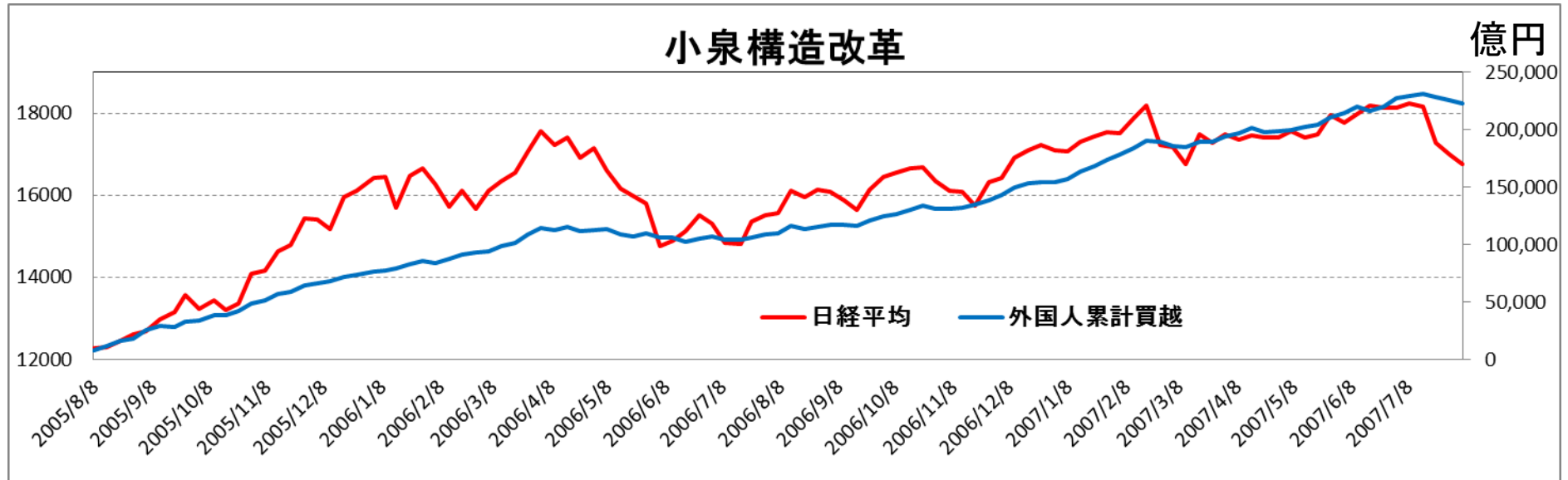
日米欧マネタリーベースの推移(2007年1月=100)



円安株高



外国人買い

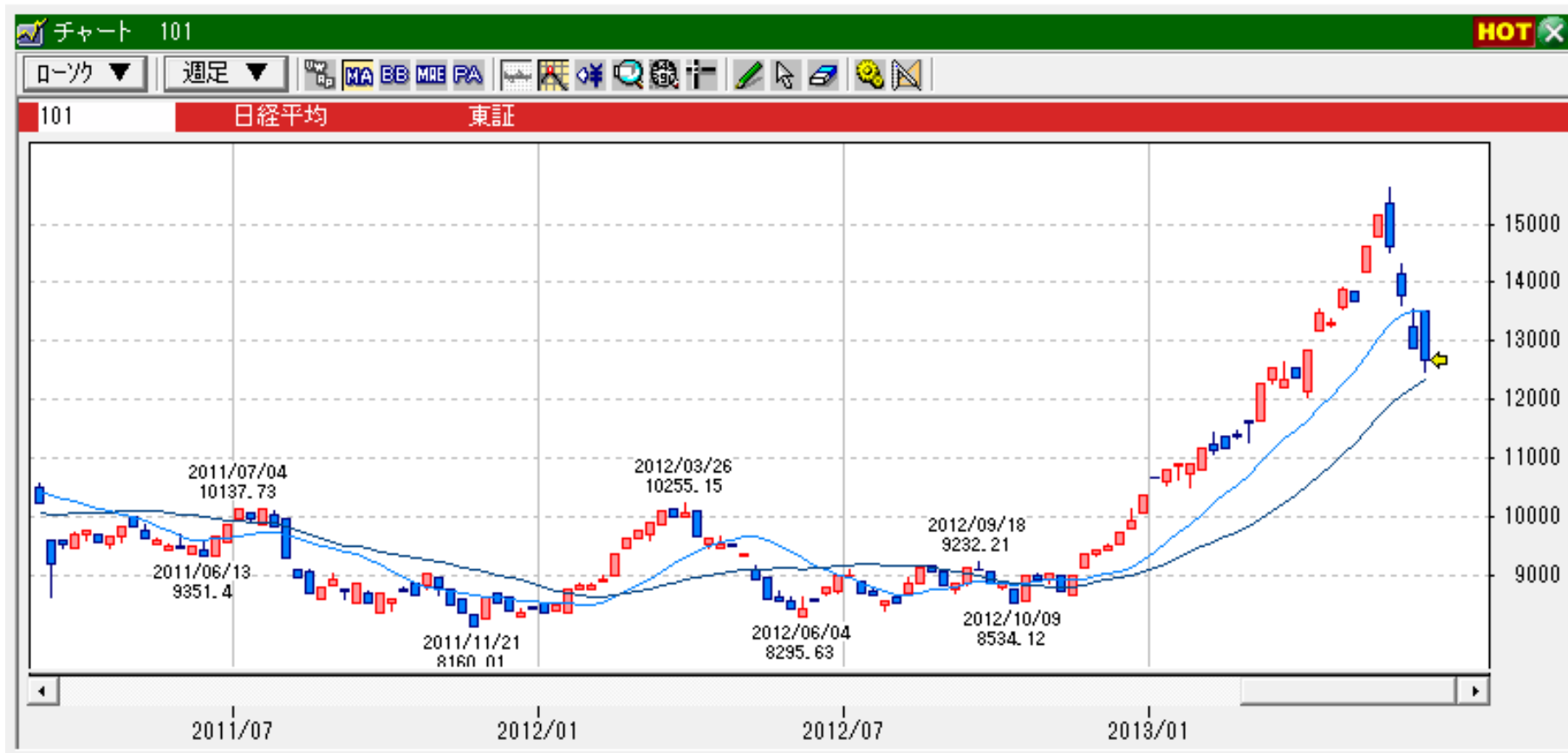


バブルの克服例



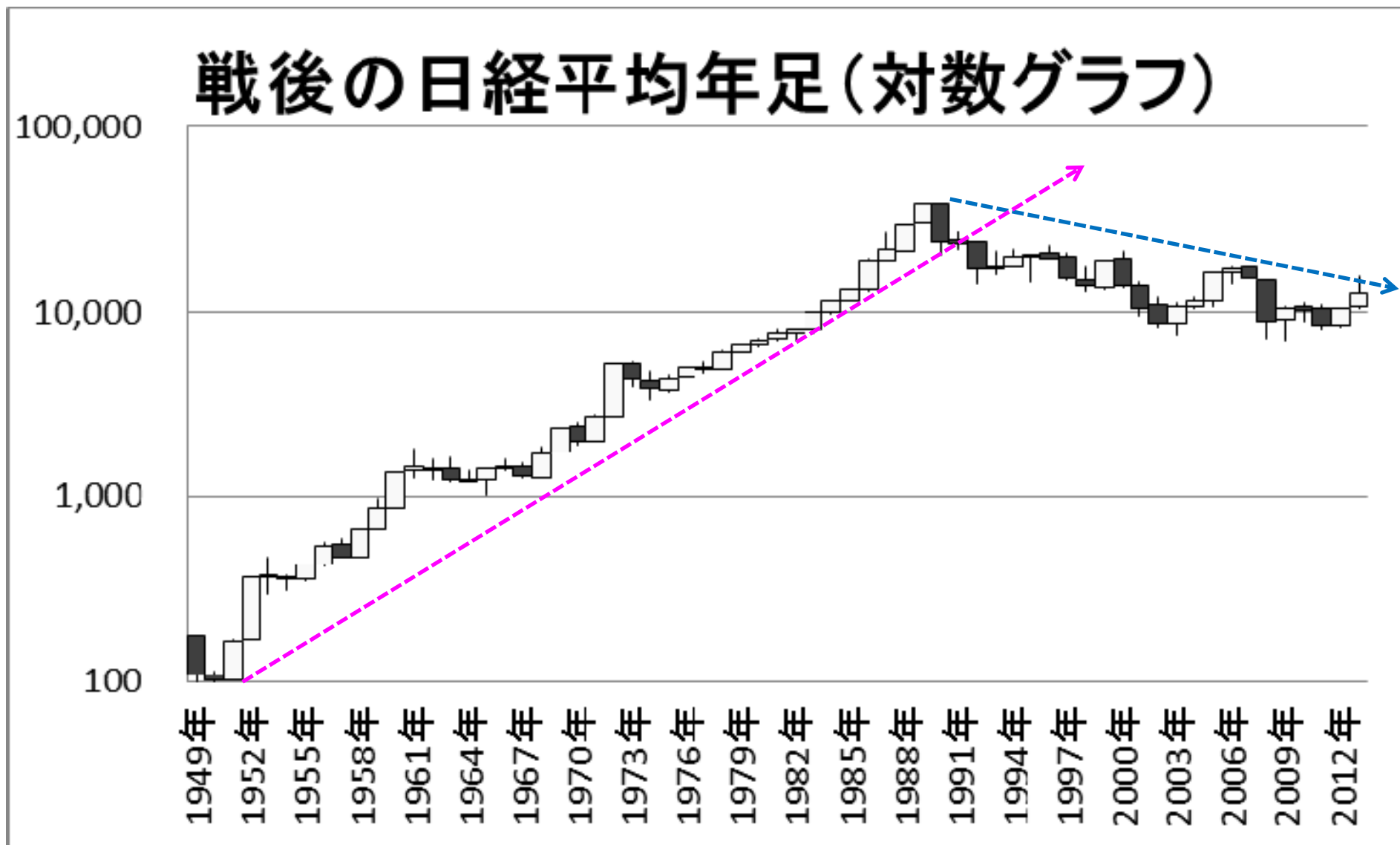
2013年後半戦

	政治経済イベント	注目
6月	骨太方針(成長戦略) G8UK、都議選	佐渡沖試掘、メタハイ3年調査 ボーナス・配当、株主総会
7月	参院選(向こう3年選挙無し) TPP交渉参加へ 原子力規制委「新規制基準」	ETF分配金 7/16 東証大証現物市場統合
8月	4-6月GDP速報 ジャクソンホール会合	イプシロン・H2B打ち上げ 8/30 TOPIX組み入れ1回目
9月	ロシアG20、ドイツ総選挙 改憲論義、加速か？ FOMC量的緩和縮小？	東京五輪2020の可否 リニア新走行試験
10月	消費税上げ判断(先送り？) バリAPEC首脳会議(TPP？)	伊勢神宮遷御の儀 秋、MRJ初飛行予定 物価連動債発行(5年ぶり) 10/31 TOPIX組み入れ2回目
12月	証券優遇税制終了(NISAへ)	東京モーターショー ボーナス・配当

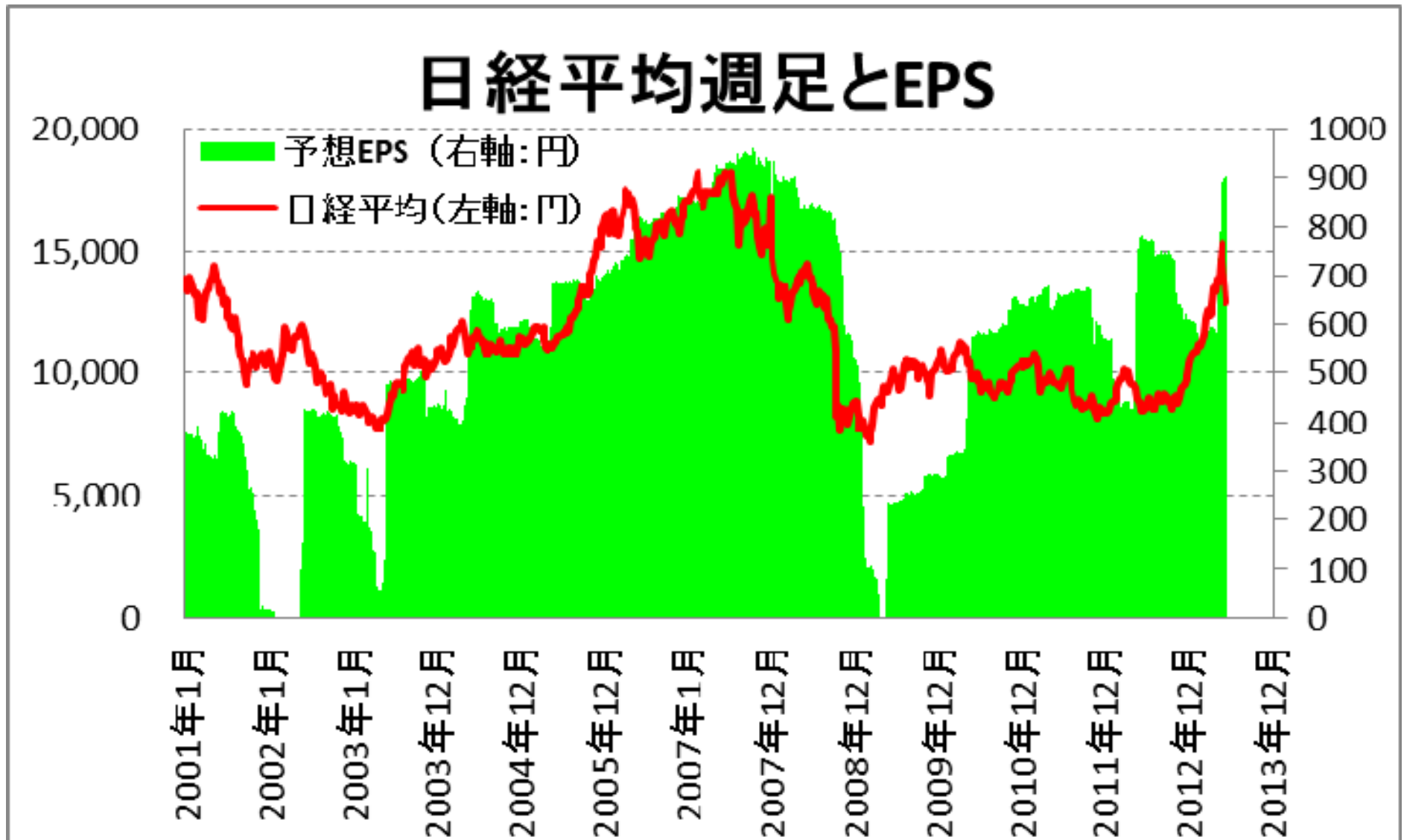


- 1カ月くらいは要注意。いずれ「輸出株」「インフレ株」
- 公共投資関連・・・NIPPO・ライトエ・前田道
- ネット株は意外に下がってない・・・ヤフー・楽天・カカクコム・スタートトゥ・トレンド・シュッピン
- 新興株やIPO人気は続く
- 逆張りはREIT・配当利回り、バリュー株はゆっくり仕込み

一旦は押し戻された



業績予想は高水準



(アイデア)ユニーク企業に注目する

- 全保・JPX・アニコム・UBIC・日ERI
- B787はジャムコ、海洋は古野電、GPSはトプコン
- 国内投資は医療機器こそ、サイエンス振興で日電子・浜ホト・島津・アズワン
- 白物家電こそ要技術革新、炊飯器、エアコン
- ネット企業は下げ少ない、クラウド/ビッグデータ革命はこれから、3Dプリンター
- クールジャパンはサンリオが手本、創通・東映アニメ・東宝、趣味、時計